

# 地域実情を考慮した道路事業評価と整備計画

## 目的

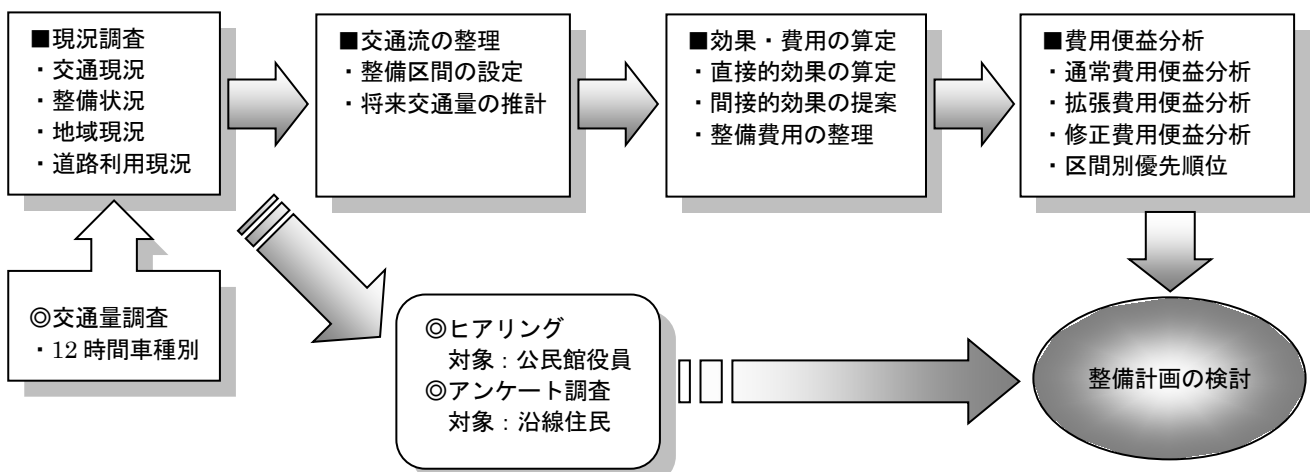
従来の道路事業評価方法は、交通量が直接要因となる効果のみでの分析であり、特に中山間地域において社会的に顕在化していない需要を正確に把握する事は困難であったといえます。

そこで、本件では直接的効果以外に沿線住民、あるいは企業や都市部の居住者にまで及ぶ定性的効果について多面的な視点より考察し、地域実情を考慮した道路事業評価をおこない、中山間地域の生活環境向上を目指す道路整備計画を策定することを目的とするものです。

## 内容

ローカルルールを用いた道路整備計画を策定する上では、以下に示す内容の検討が考えられます。

- 現況調査
  - ・交通現況調査・・・区間別現況交通量調査など
  - ・道路整備現況調査・・・整備・未整備区間の選定・現地踏査
  - ・地域現況調査・道路利用の現況調査≫≫≫**技術ポイント1**
- 交通流の整理
  - ・整備区間の設定・・・整備計画対象区間の設定
  - ・将来交通量の推計・・・現況交通量調査結果・既存資料より推計
- 整備効果・費用の算定
  - ・直接的効果の算定・・・費用便益分析マニュアルより算定
  - ・間接的効果の検討≫≫≫**技術ポイント2**
  - ・整備費用の整理・・・実績値より整理
- 費用便益分析
  - ・全線における通常費用便益分析・拡張費用便益分析・修正費用便益分析の実施
  - ・区間別優先順位の検討
- 整備計画の検討≫≫≫**技術ポイント3**
  - ・全線における整備計画の検討
  - ・区間別整備計画の策定



## 技術ポイント

### (1) ヒアリング・アンケート調査による道路利用状況の把握

ローカルルールを用いた道路整備計画を策定する上で重要な事項として、地域住民からの意見・要望を反映させることが考えられます。そこで、対象路線に関する様々な現状を把握するため、沿線住民の代表者（公民館役員など）を対象としてヒアリングを開催します。ヒアリングの内容としましては、『現在の道路利用時における問題点』『対象路線の利用用途』『今後の道路整備に求める事』などについて座談会形式でざっくばらんに意見を交換します。

また、より詳細な内容について広範囲に意見を抽出するため、沿線住民に対してアンケート調査を実施します。アンケートの内容としましては、主に『道路を利用する目的及び目的地』『利用しにくい区間』『道路利用に対する満足度と重要度』などで、調査結果より道路の利用状況や現状に対して改善して欲しい項目などを整理し、地域実情を考慮した定性的効果抽出のための基礎資料とします。

### (2) 間接的効果定量化手法の検討

ヒアリング・アンケート調査及び地域状況・道路周辺環境などから、今まで明らかにされていなかった道路整備による定性的効果を抽出し、それらの効果に対して定量化手法を提案します。

ここでの効果は、交通量が直接要因となる効果ではなく、あくまでも沿線住民における生活環境・生活利便性の向上や地域経済の活性化などといった、地域の生活に密着した効果を選定します。

なお、定量化の方法としましては、各種文献や論文あるいは道路事業以外の指針などを参考とし、対象地域の実績値を採用することで、より地域の実情を考慮した手法を検討します。

#### 定性的効果の例

- 迂回行為の解消効果：災害時における迂回行為の発生が抑制される効果
- 輸送効率の向上効果：道路幅員が広がることにより、貨物車の大型化が促進され輸送効率が向上する効果
- 生活安全性向上効果：地滑りや法面崩壊による災害復旧費・防除費が削減される効果
- 生活利便性向上効果：下宿生活をしている高校生が自宅通学となることで、下宿代が通学費に減少する効果
- 観光振興への寄与：休日における観光客の通行規制によるキャンセル行為が減少することによる経済的効果
- 高齢者福祉への支援：デイサービス施設の利用促進により介護者同居家族の介護に係る時間が労働時間として見込まれることによる経済的効果
- 農林業生産向上効果：農業における良質な生鮮作物の荷痛み廃棄率の低減や、林業における間伐材の利用促進による経済的効果
- 環境改善効果：走行速度の高速化・安定化・急ブレーキ・急発進などの減少による地球環境への環境改善効果

### (3) 整備計画の検討

従来の交通量が主要因となる直接的効果に地域実情を考慮した間接的効果を加味して費用便益分析（全線・区間別）を実施し、その値をもって最終的に整備計画を取りまとめます。

整備計画の内容としましては、全線における整備方針の検討に加え、区間毎にも整備方針を検討します。

ここで、区間毎の整備方針については、費用便益比のみを判断材料とはせず、アンケート調査等で明らかとなった、『区間毎の利用頻度』や『現在の利便性』など沿線住民の意見を考慮して検討します。

## 当社実績

H14～15 「宮崎県北部地域連携支援道路（一般国道503号他）計画調査」 宮崎県

H16 「路線整備計画検討業務委託」 宮崎県

玉野総合コンサルタント株式会社

お問い合わせ先：事業企画部 (TEL. 052-979-3960 / FAX. 052-979-3970)